

皆さまとともに歩んだ15年間 —
たくさんの笑顔が生まれました



World Vision

この子を救う。未来を救う。

支援開始当初の主な課題

- 【生計向上】作物の生産高が低く食料安定性が低い。また自然災害により、作物の生産が影響を受けやすい。
- 【教育】学習環境が整っておらず、教育の質が低く教材も不足している。就学前教育が行われていない。
- 【保健衛生】安全な飲料水やトイレなど衛生設備が不足。栄養不良の子どもの割合が高い。
- 【指導者育成】地域の開発の担い手となる中心的な役割を果たせる人材の不足。



バンエン
地域開発プログラム

ベトナム

準備期 (2004-2005年度)

- 事業対象地域の状況調査
- 事業計画立案、事業実施体制の整備
- 地域政府や住民との相互理解・関係構築

支援開始当初の子どもたち
(2006年) (左)
地域の課題を話し合う住民たち
(2005年) (右)



第1期 (2006-2010年度)

- 作物の生産高や収穫量、畜産の技術を強化するための研修を実施
- 幼稚園施設を建設し、就業前教育環境が改善
- 保護者への識字研修を実施し、地域の課題を住民が認識し改善策の検討を開始
- 子どもの健康診断を定期的に行う
- 保護者へ栄養と健康管理に関する研修を実施し、栄養グループの活動が開始
- 住民参加で20以上の小さな橋を建設し、子どもたちの通学環境が改善



学んだ知識を生かし、
野菜栽培を実施 (2011年)

スポンサーへ手紙を書くチャイルド
(2007年)

第2期 (2011-2015年度)

- 3-5歳の子どもの就学前教育の就学率が向上
- 小学校の86%が「能動的学習法」を実践し、読解力や成績が改善
- 27の子どもクラブの活動を実施、ライフ・スキルと生きる価値についての研修実施
- 50の栄養クラブで保護者への啓発や研修を実施し、鶏、野菜の種の支援により子どもたちの栄養状態が改善
- 60村で村落開発委員会を形成、特に支援の必要な子どものニーズや地域開発についての研修を実施



健康診断を受け、
発育に問題がないか確認
(2015年)

子ども向けの活動のようす
(2015年)

第3期 (2016-2018年度)

- 第2期に設立された、村落開発委員会、栄養クラブ、収入向上グループ、子どもクラブなど様々なグループの強化
- 54の収入向上グループで貧困家庭にローン貸与を行い、住民が維持管理を実施
- 小・中学校で参加型学習法、子どもを中心とした学習法を使った授業を実施
- 子どもクラブを通じ、ライフ・スキルや、生きる目的等の研修を実施



収穫高が向上し、収入が向上
(2016年)

住民が主体となって学校の校庭を
整備 (2016年)

地域代表者からのごあいさつ



ブイ スアン、タンさん (バンエン地域内のイェン・ホップ・地区の地区長)

以前、私たちの地域では、農業技術や市場での販売方法など、生計を立てるために必要な知識や技能が不足していました。不安定な家計のために、子どもたちの必要を満たすことができていませんでした。ワールド・ビジョンを通じて様々な知識を学んだ地域の人々は、実際に学んだ知識を各家庭で適用し、収入向上に大きく貢献しました。地域の人々の毎日の必要を満たし、子どもたちが見守られ、十分な教育を受けられるようここまで支えてくださったことに、心より感謝を申し上げます。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話: 03-5334-5351 FAX: 03-5334-5359 e-mail: dservice@worldvision.or.jp ホームページ: www.worldvision.jp

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載しています。ホームページにぜひお立ち寄りください。

いっしょに幸せになろう。
チャイルド・
スポンサーシップ

終了
報告書

ベトナム社会主義共和国 バンエン地域開発プログラム

VNM-175040 (2006年度～2018年度)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

支援を受けたチャイルドのストーリー

スポンサーに励まされて 夢を持ち続けることができました

バンエン地域で生まれ育ったクックさんは現在、教育大学の英語学科で学ぶ大学生です。クックさんが子どもの頃、受けた地域支援で忘れられない出来事があります。

「小学校の通学路は、でこぼこで、雨が降ると泥だらけのぬかるみになり、学校に通えない日もありました。支援により道が舗装された時、子どもも村の人たちもとても喜びました。雨でも学校を休まなくてよくなり、通学の困難さを理由に退学する子もいなくなりました」

また、今の自分があるのは、スポンサーの方との交流で励まされたからと話します。

「スポンサーの方は、将来の希望や夢を持つよう励ましてくれました。私はとても心を動かされ、自分の夢を追い求めることを心掛けるようになりました。おかげで、今では教師になるため大学で勉強ができています。教師になったら、以前の私のような貧しい子どもたちが、夢を持ち続けることの大切さを教えたいです。バンエン地域の貧しい子どもたちを応援し続けてくださったスポンサーの方に、心より感謝の言葉を伝えたいです」



クックさんとその家族

「将来は、貧しい子どもたちが夢を持ち続けることの大切さを教えたい」と話すクックさん(19歳)

母親のパムさん(写真右)からも感謝をお伝えします！

以前、我が家は何とか工面した資金で、鶏と豚を飼育したこともありましたが、病気で全滅してしまい、相談できる人もおらず途方に暮れていました。その頃は、娘の教育の必要性も理解していなかったですし、高等教育へ進学させられるとは夢にも思っていませんでした。でも家畜飼育や繁殖に関する研修を受け、今では年に3回繁殖し、毎回鶏70羽と豚4頭を生産できるようになりました。収入が安定しただけでなく、家族が十分に食べられるようにもなりました。また、子育てに関する学びを通じ、子どもの気持ちを理解し、夢の実現のため前向きな言葉かけをするようになりました。クックの妹も高校に通っています。子どもたちの夢を応援できて、本当に嬉しいです。

バンエン地域開発プログラム マネージャーよりご挨拶



バンエン地域開発プログラム
マネージャー
ザン・ティ・トゥ・トゥイ

15年の長きにわたりバンエン地域をお支えくださったご支援者の皆さまに心より感謝を申し上げます。温かいご支援により、貧困・栄養不良、不衛生な水と衛生施設、質の低い初等教育など15年前の多くの問題が劇的に改善しました。また、子どもたちはより良い環境の中で成長できるようになりました。地域住民の間では、愛を持って人に接し、平和を保ち、お互いを受け入れ合い、親切にするという価値観が広く促進されています。

— 15年間のご支援により、人々が 変わり、地域が変わりました —



生活向上

農業や畜産の生産高が向上



養鶏技術を学び子どもたちに栄養ある食事を与えられるようになりました



教育

学習環境が改善し、教育の質が向上



子どもたちが自ら考え地域の課題解決のため活躍するようになりました



保健衛生

子どもの栄養状態が改善



地元で入手可能な食材を使い栄養ある食事の作り方を学び実践する母親



指導者育成

地域の指導者が養成され、住民が中心となって地域の課題を解決



住民が協力し整備された橋を渡って安全に通学できるようになりました

成果

■ 作物の生産高の向上 (年間一人当たりの生産高)

285kg (2006年) **》 415kg** (2010年)

■ 前年よりも収入が増えた家庭の割合

59.4% (2013年) **》 62.4%** (2017年)

■ ベトナム政府の設定する貧困ラインを下回る家庭

33% (2005年) **》 9%** (2016年)

プログラム開始前、農業の生産高と現金収入が低く、貧困ラインを下回る家族が33%を占めていました。そのため、住民に対して農業や畜産の作物の生産高を上げるための研修を行い、学んだことを地域住民は実践するようになりました。また、野菜の栄養について学び、各家庭が野菜栽培を始め、専門家の指導を受けつつ、悪天候や害虫被害にも負けない生産性の高い作物や家畜を育てることができるようになりました。地域の貧困世帯の貧困状態が解消されるなど、活動の成果が見られました。

支援前：貧困ラインを下回る家庭が33%を占めていました



成果

■ 幼稚園の日中保育

63% (2005年) **》 95.9%** (2014年)

■ 小学校の就学率

63% (2006年) **》 83%** (2010年)

■ 中学校の就学率

68% (2005年) **》 88%** (2017年)

地域では、建て替えや修理の必要な古い校舎の小学校が多く、授業に必要な教材、備品、机、イスが整備されていない学校が多くありました。また暗記学習中心のため、学習能力や就学率などに影響を与えていました。支援期間を通じて合計8校の幼稚園が新しく建設され、2校の小学校の教室が増築され学習環境が整えられました。また対象地域の学校の教職員に対し研修を行い、生徒自らが積極的に物事を考え、話し合う参加型学習は、地域内すべての学校で導入され、幼稚園や小学校の就学率が上がり、子どもの読み書き計算能力が向上しました。

支援前：幼稚園が不足し就学前教育に通えない子どもたちが多くいました



成果

■ 対象地域内の栄養不良の割合が減少

42.6% (2005年) **》 20.5%** (2017年)

■ トイレを使用している家庭

44% (2005年) **》 97.7%** (2018年)

■ 母乳を与えている母親

18% (2005年) **》 75.8%** (2018年)

5歳未満の子どもの42.6%が栄養不良で、保護者の栄養や衛生に関する知識が不足していました。これらの課題に対し、村落保健員の能力強化を行い、知識を得た村落保健員が、各村の小グループで保健衛生や栄養に関する啓発活動を行いました。グループでは、乳幼児の母親が身近な食材を使って栄養ある食事を作る方法を学び、子どもの体重測定や、栄養状態を確認します。そのほかにも妊娠中・産前産後のケア、母乳育児の促進など子どもの健康に関する研修を行い、対象地域内の栄養不良の子どもの割合が大きく改善しました。

支援前は、栄養不良の子どもの割合が42.6%を占めていました



成果

■ 村落開発委員会の数

0委員会 (2005年) **》 8委員会** (2013年) **》 16委員会** (2017年)

■ 村落開発委員会の指導で、災害対策を行っている家庭

15% (2013年) **》 20.3%** (2017年)

地域の開発の担い手となる中心的な役割を果たせる人材が不足していたため、村落開発委員会を60村で形成し、委員会のメンバーへの能力強化の研修を行いました。この委員会は地域の課題を解決するため、様々な小規模事業を企画しました。橋梁・道路の建設、子どもの遊び場の改修など、子どもの権利、男女平等、環境保護、自然災害への対策に関する啓発活動やイベントを行い、地域が中心となって活動が行われています。また、事業全体の成果を図るモニタリンググループを作り、事業のモニタリングおよび、報告も行われています。今後は村落開発委員会が中心となって、地域の開発を担っていきます。

支援前：雨が降ると通学が難しくなることもあった道を住民が整備しました

